苦手を克服させる育成から、特性を戦力に変える配置へ

発達障害の社員を活かす環境づくりの基本

人事課題×就労支援　竹内一法

Gemini Notebook

TAKEAWAY

自社の基準を少し変えるだけで、戦力になる人材がいます



・発達障害は欠点ではなく、環境によって活きる脳の特性です



・何でもそつなくこなす基準を外すと、突出した強みが見えます



・社内で抱え込まず、外部の力を借りて適材適所の仕組みを作ります

Q. 自社では「できないこと」ばかりに目を向けていませんか。

Gemini Notebook

OVERVIEW

特性を戦力に変えるための、3つのアプローチ

- 本資料では、人事の皆様が直面する課題を3つの段階に整理しました
- それぞれの視点から、採用や配置の仕組みを見直すヒントを提示します



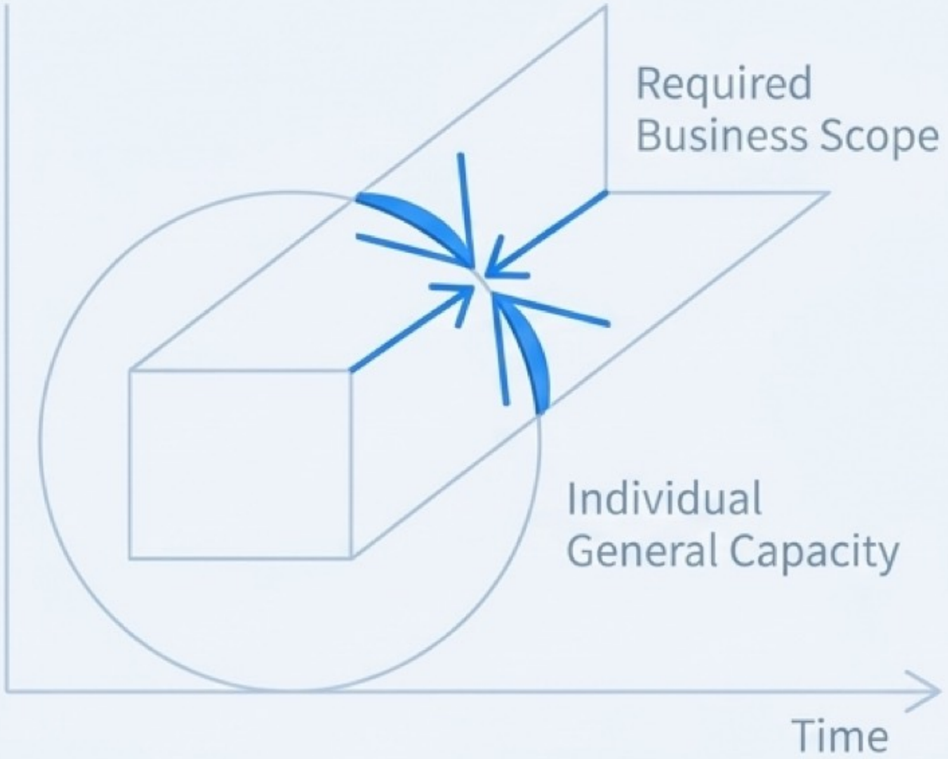
Q. 現在の社内の仕組みは、どの段階に一番課題があると感じますか。

Gemini Notebook

ASSESSMENT

入社後に業務に行き詰まる背景には、見過ごされた特性があります

- 一般社員として入社後、業務範囲が広がり壁にぶつかることがあります
- 能力が低いのではなく、業務との相性が合っていない可能性があります
- 現場の実感として、ここ数年で診断を受ける方は一気に増加しています



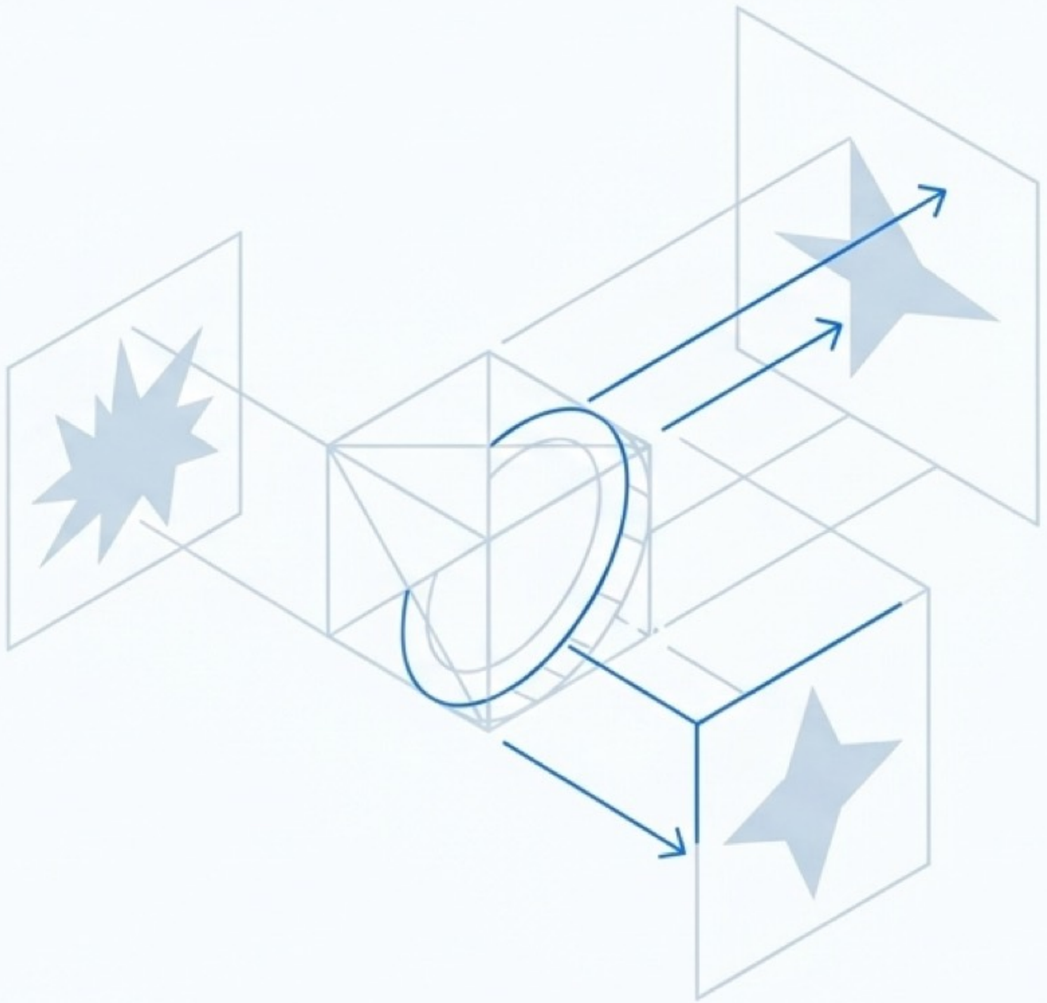
Q. ミスが続く社員に対し、単なる能力不足だと片付けていませんか。

Gemini Notebook

ASSESSMENT

できないことの裏側にある、突出した強みに目を向けます

- 落ち着きのなさは、ためらわずに挑戦できる突破力に変わります
- コミュニケーションの苦手さは、一つの作業への過集中に変わります
- 特定の業務でつまづく経験は、得意分野を深く掘り下げる力に変わります



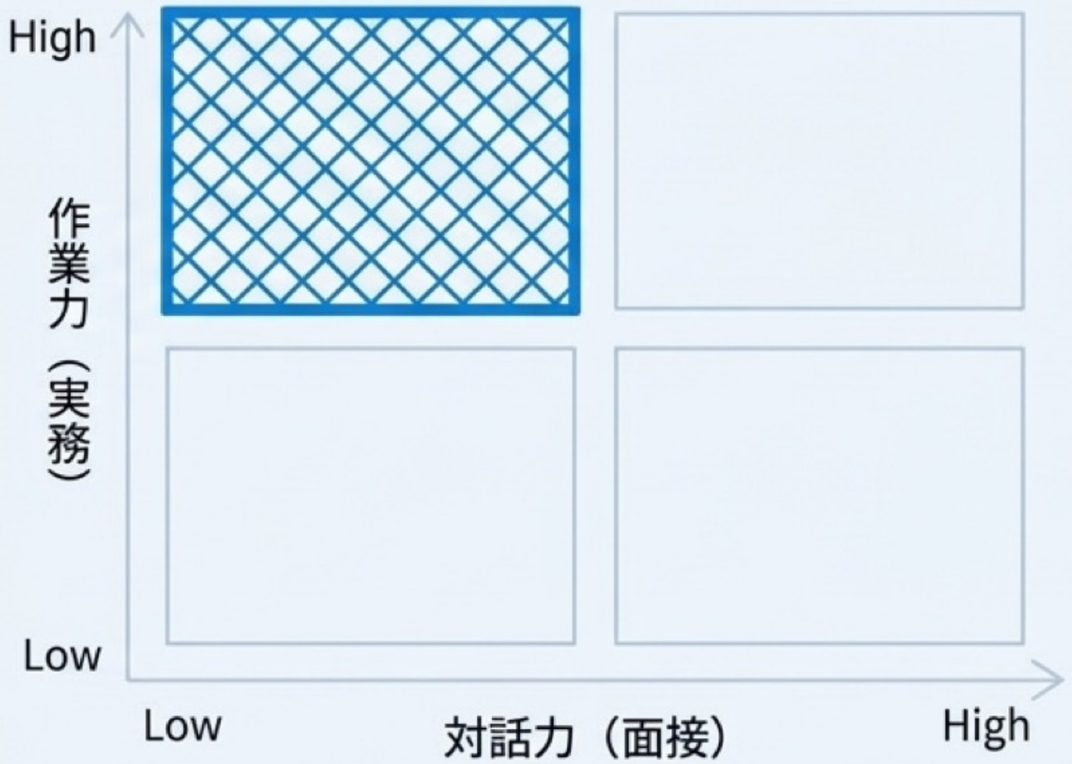
Q. 社員の苦手な部分を、別の角度から評価し直すことはできますか。

Gemini Notebook

MATCHING

対話力を測る面接だけでは、実務の才能を見落とします

- 流暢に話すことが求められる面接では、実力を発揮できない人がいます
- 会話が苦手でも、実務では高い精度や創造性を発揮するケースがあります
- 面談や実習を通じて、実際の作業適性だけを見極める選考も有効です



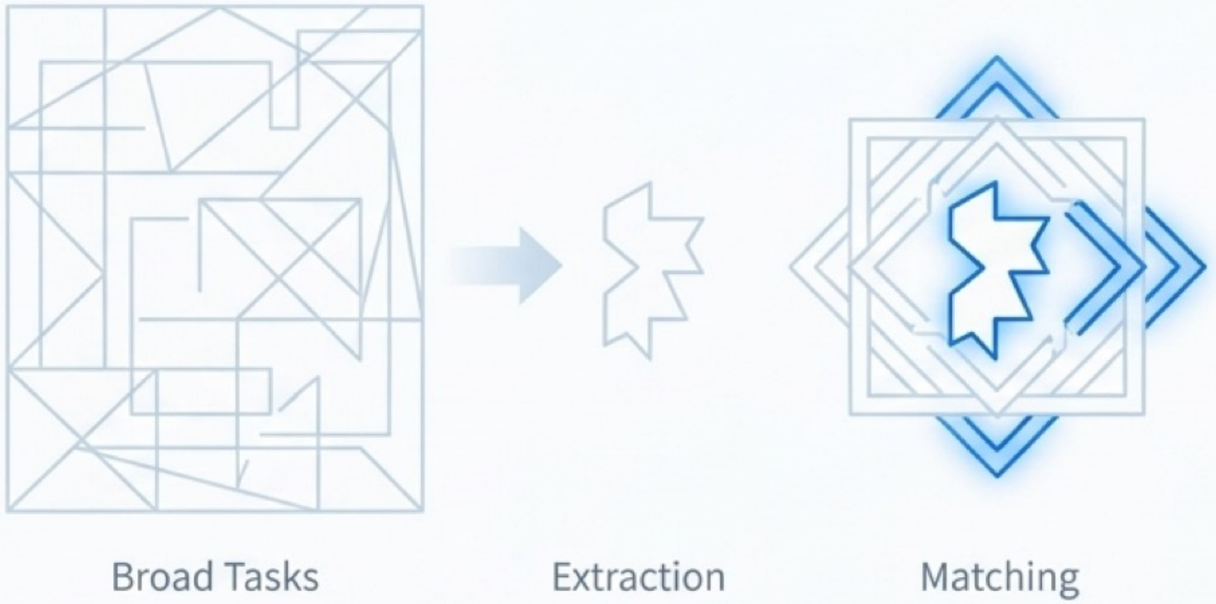
Q. 自社の採用基準は、すべての職種で一律のコミュニケーション力を求めていませんか。

Gemini Notebook

MATCHING

満遍なくこなす業務から、
強みが直結する業務へ配置を変えます

- マルチタスクや幅広い事務作業は、
  特性によっては大きな負担になります
- 専門的な入力作業や物作りなど、
  特定の能力に特化した業務を切り出します
- 結果として、企業が求める高い成果や
  若手人材の確保につながります



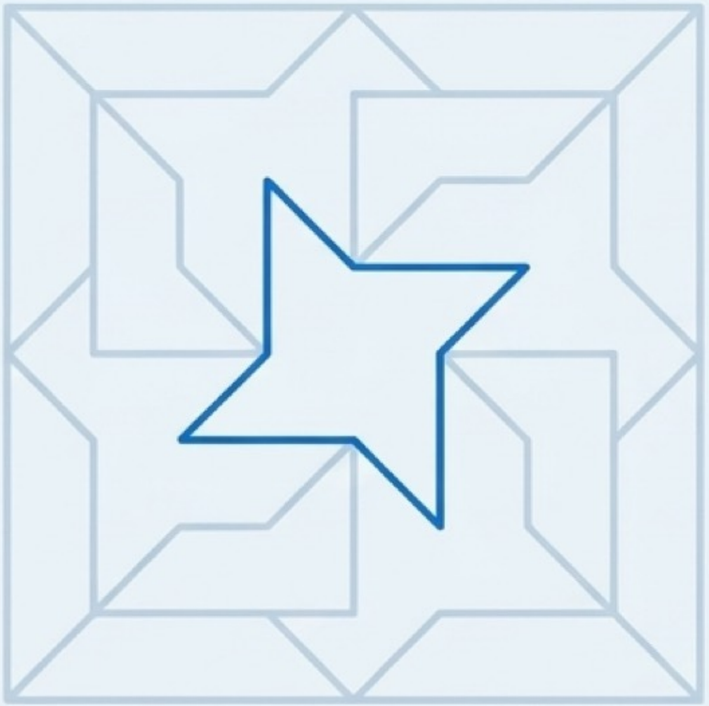
Q. 社内の業務の中で、特定のスキルだけに特化して任せられる仕事はありませんか。

Gemini Notebook

TEAMWORK

苦手な領域は、チームの仕組みとサポートでカバーします

- すべての業務を一人で完璧に完結させる必要はありません
- 抜け漏れが発生しやすい作業は、別の担当者が確認する体制を作ります
- 得意なことへの集中を周囲が支え、チーム全体の生産性を向上させます



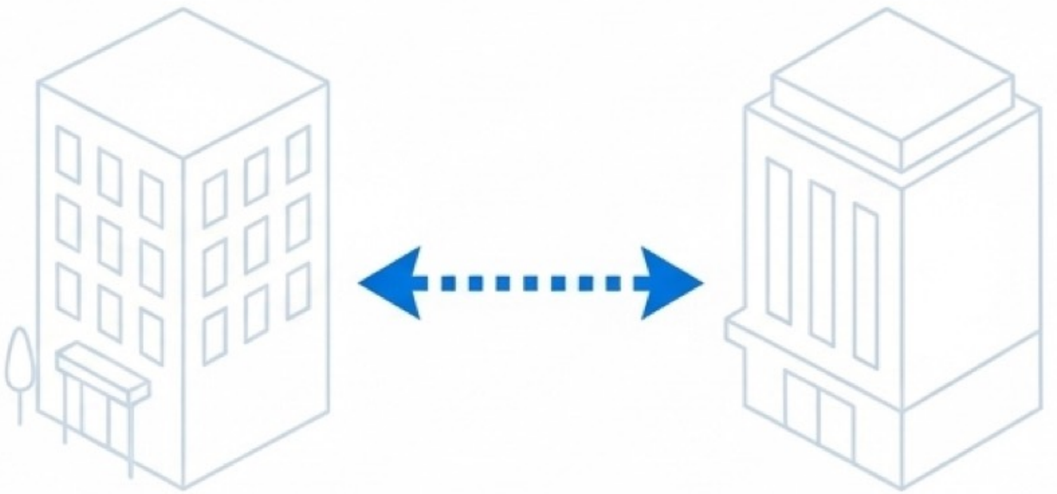
Q. 個人の弱点を、チーム全体のプロセスで補う体制はできていますか。

Gemini Notebook

TEAMWORK

人事部だけで抱え込まず、外部の専門機関を頼ります

- 自社内だけで全てを解決し、理解しようと思いすぎる必要はありません
- 特性の把握やサポート体制の構築は、外部の専門機関と連携して進めます
- 一部を任せるくらいの割り切りが、結果として社員を活かす道を開きます



Q. 社員の働き方について、気軽に相談できる外部のパートナーはいますか。

Gemini Notebook

CONCLUSION

振り返りと次の一歩

- 見立て：欠点ではなく、特性の裏にある強みを見つけます
- 配置：面接の基準を見直し、強みが直結する業務へ配置します
- 連携：自社だけで抱え込まず、チームと外部の専門家を活用します

「なぜできないのか」という問いを捨て、
何ができるかを探求しましょう。

人事課題×就労支援　竹内一法

Gemini Notebook